

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1・2組：深井・佐治）（3組：磯崎）（4・5組：深井・佐治）（6・7組：深井・佐治）

使用教科書：（高校美術1 日本文教出版）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】作品の文化的・歴史的背景及び多様性について、芸術活動を通して理解し、その表現に必要な知識・技能を身に着けている
- 【思考力、判断力、表現力等】課題を多角的に解釈することができる。社会における芸術の役割、価値を考えて創造的に表現できる。
- 【学びに向かう力、人間性等】芸術を生活や社会に活かそうとし、主体的に芸術活動に取り組もうとする。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主題に合った表現方法、技法を身につけ、創意工夫し、創造的な作品制作に生かす。	自ら自己や社会に対して独創的な主題を生成し、表現の可能性について考え、個性を生かした創造的な表現の構想を練ることができる。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、自らの感性と美意識を高め、心豊かな生活に生かそうと取り組んでいる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ 映							
1 学 期	●デザイン「自分のロゴ制作」 【知識及び技能】 ・文字の基本、サインデザイン等についての知識を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己の趣向や特徴を捉え、ロゴマークのデザインに表現できるように導く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・デザインが社会にもたらす力について、制作を通じて理解させる。	●指導事項 ・自分の氏名や趣向について視覚的に伝わるよう、ロゴマークとしてデザインし、アクリル絵具等を使用して実際に制作して授業ファイルに貼付する。 ●教材 ・教科書、端末、ケント紙、アクリル絵具セット、ペン、ブックカバー ●一人1台端末の活用 等 ・社会で使用されているサインデザインについて調べ学習に使用する。	○			【知識及び技能】 主題に合った表現方法、技法を創意工夫し、創造的な作品制作に生かしているか。 【思考力・判断力・表現力等】 自ら自己や社会に対して独創的な主題を生成し、表現の可能性について考え、個性を生かした創造的な表現の構想を練ることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、自らの感性と美意識を高め、心豊かな生活に生かそうと取り組んでいる。	○	○	○	16
	●鉛筆デッサン「身近なものを描く」 【知識及び技能】 ・鉛筆デッサンの基本的な技術、知識を身につけさせる。 ・身近なものをモデルとして、対象をよく観察し、形を捉える描画力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学んだ知識や技術を工夫して、デッサンで表現できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近なものを観察することで、美術的な視点を持つものを視る力を養う。	●指導事項 ・単純な形態の静物を鉛筆でデッサンすることで、基礎的な描画力、表現力を養う。 ●教材 ・教科書、画用紙、鉛筆（4H～6B）、練ゴム、デスクル、モチーフ	○			【知識及び技能】 主題に合った表現方法、技法を創意工夫し、創造的な作品制作に生かしているか。 【思考力・判断力・表現力等】 自ら自己や社会に対して独創的な主題を生成し、表現の可能性について考え、個性を生かした創造的な表現の構想を練ることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、自らの感性と美意識を高め、心豊かな生活に生かそうと取り組んでいる。	○	○	○	8
2 学 期	●彫刻「粘土による模刻」 【知識及び技能】 ・粘土の特性を理解し、立体的に観察し、表現する技能を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・モチーフの形態と色彩を観察し、それに見合った道具と色彩を工夫して表現できるように導く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・何気なく見ているものでも、複雑な形態、色彩をもっておいことに気づかせ、美術的な観点を身につけさせる。	●指導事項 ・モチーフを多面的に観察し、石粉粘土を使用して細部まで形態を模刻する。乾燥させてから、アクリル絵具を使用して色彩についても再現する。 ●教材 ・教科書、端末、石粉粘土、粘土ペラ、粘土版、霧吹き、アクリル絵具セット ●一人1台端末の活用 等 ・モデルとなるモチーフを検索するために使用する。	○			【知識及び技能】 主題に合った表現方法、技法を創意工夫し、創造的な作品制作に生かしているか。 【思考力・判断力・表現力等】 自ら自己や社会に対して独創的な主題を生成し、表現の可能性について考え、個性を生かした創造的な表現の構想を練ることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、自らの感性と美意識を高め、心豊かな生活に生かそうと取り組んでいる。	○	○	○	14
	●デザイン「人物の平面構成」 【知識及び技能】 ・デザインの種類、役割、色彩の与える視覚的効果を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・題材にする写真から明度段階をで分割し、色彩で表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・構成をおとして、明度と彩度について理解し、意識して制作に向かうように促す。	●指導事項 ・人物写真を色彩の明度段階をもとに分割し、伝達したいイメージをもとに色彩構成する。 ●教材 ・教科書、ケント紙ボード、鉛筆、練ゴム、トレーシングペーパー、転写紙	○			【知識及び技能】 主題に合った表現方法、技法を創意工夫し、創造的な作品制作に生かしているか。 【思考力・判断力・表現力等】 自ら自己や社会に対して独創的な主題を生成し、表現の可能性について考え、個性を生かした創造的な表現の構想を練ることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、自らの感性と美意識を高め、心豊かな生活に生かそうと取り組んでいる。	○	○	○	14
3 学 期	●彫刻「木彫レリーフ制作」 【知識及び技能】 ・彫刻刀による木彫表現を学び、イメージした形を立体的に表現する様々な彫刻の技法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・平面ではできない立体ならではのデザインを創造し、木彫の技能を生かして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・彫刻刀の技法に対して意欲的に習得するよう、見本を用意するなど意識を高める。	●指導事項 ・モチーフを多面的に観察し、石粉粘土を使用して細部まで形態を模刻する。乾燥させてから、アクリル絵具を使用して色彩についても再現する。 ●教材 ・教科書、端末、木彫レリーフキット、彫刻刀セット、サンドペーパー、ワックス、ステイン、ニス ●一人1台端末の活用 等 ・モチーフの参考となるものを検索するために使用する。	○			【知識及び技能】 主題に合った表現方法、技法を創意工夫し、創造的な作品制作に生かしているか。 【思考力・判断力・表現力等】 自ら自己や社会に対して独創的な主題を生成し、表現の可能性について考え、個性を生かした創造的な表現の構想を練ることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、自らの感性と美意識を高め、心豊かな生活に生かそうと取り組んでいる。	○	○	○	14
	●鑑賞「日本の美術、世界の美術」 【知識及び技能】 ・教科書の作品から、制作の背景、作者、技法等について調べてまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品を鑑賞して感じたこと、気づいたことを自身の言葉で表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鑑賞のポイントなどを指導し、作品の鑑賞に対して意欲的に取り組めるようにする。	●指導事項 ・教科書掲載の、日本の美術作品と世界の美術作品を鑑賞し、その時代背景や文化的違いにも触れることで、美しさを感じ取り、気づいたことを言語で表現する力を養う。 ●教材 ・教科書、ワークシート			○	【知識及び技能】 主題に合った表現方法、技法を創意工夫し、創造的な作品制作に生かしているか。 【思考力・判断力・表現力等】 自ら自己や社会に対して独創的な主題を生成し、表現の可能性について考え、個性を生かした創造的な表現の構想を練ることができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、自らの感性と美意識を高め、心豊かな生活に生かそうと取り組んでいる。	○	○	○	4
									合計	70

